

様式3

#REF!

学校名 里小学校 校長名 榎元 寛之

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価				学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価(数値平均)			対策・改善点	評価(数値平均)			主な意見
段階	人数	平均	段階	人数	平均		段階	人数	平均	
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	A	7	3.7	PTA総会、各種会合をはじめ、ホームページやブログの更新など工夫して、常時伝えている。	A	10	3.8	・児童のことをよく考え、運営されていると思います。
			B	3			B	2		
			C	0			C			
			D	0			D			
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	A	8	3.8	各検査の分析結果を基に重点的かつ繰り返し指導を行うとともに、サーキットコースの活用を通して、学力・体力の向上に取り組んだ。	A	10	3.8	学習や運動など、子供たちの様子から先生方の尽力が伝わってきます。
			B	2			B	2		
			C	0			C			
			D	0			D			
3	(2)	子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。	A	9	3.9	係・委員会活動、クラブ活動を中心に、学校行事等を通して子供が主体的に楽しめるよう気を配った。	A	12	4.0	よく学校での出来事を子供が話してくれるので楽しく学校生活を送れているのだと思います。
			B	1			B			
			C	0			C			
			D	0			D			
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	A	10	4.0	月1回のいじめアンケート、生徒指導連絡会による実態把握・共通理解を図り、全職員による児童への声掛けなどの取組を継続した。	A	12	4.0	深刻ないじめ、不登校等がなく安心していきます。
			B	0			B			
			C	0			C			
			D	0			D			
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	A	9	3.9	継続した交通安全への意識付け、原子力防災、津波、不審者対応等の避難訓練を行い、安全指導を丁寧に行った。	A	12	4.0	訓練を通して、子供たちに命を守るようこれからも継続して指導してほしいです。
			B	1			B			
			C	0			C			
			D	0			D			
6	(4)	教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。	A	8	3.8	地域行事への参加、全保護者との教育相談等を通して、地域や保護者とのよい関係を継続して築きたい。	A	10	3.8	引き続き学校全体で、地域・保護者とよい関係が築けるようにしてほしいです。
			B	2			B	2		
			C	0			C			
			D	0			D			
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	A	7	3.7	校庭クリーンデーでの教児一体となった清掃・緑化活動の取組を継続させるとともに、状況等を見て除草等行っていきます。	A	11	3.9	校庭の除草等、清掃・緑化活動を通して、きれいに整備されています。
			B	3			B	1		
			C	0			C			
			D	0			D			
8	(5)	学校の施設・設備は定期的な安全維持管理のための点検等がなされている。	A	8	3.8	月に1回の安全点検を全職員で実施し、改善箇所については、関係機関と連携して素早く対応している。	A	12	4.0	安全安心な学校づくりができており、日頃の点検や修繕を通して、事故もないのでよいと思います。
			B	2			B			
			C	0			C			
			D	0			D			
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	A	7	3.7	PTAや先生と語ろう会等で個人的な情報を保護者に知らせている。また、学校便り等で全体的な傾向及び対策を示すことができた。	A	9	3.8	学力や体力について、子供たちの実態が周知されていると思います。
			B	3			B	3		
			C	0			C			
			D	0			D			
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	A	10	4.0	学校行事だけでなく、奉仕作業、授業での指導等、協力をいただくと同時に、多くのPTA行事に参加していただいている。	A	11	3.9	保護者や地域の協力・支援が適切になされ、保護者も行事に積極的に参加していると思います。
			B	0			B	1		
			C	0			C			
			D	0			D			

様式3

#REF!

学 校 名
里小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)			
			評価	人数	平均		評価	人数	平均	
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。	段階		3.8	小中一貫した授業スタイルの実践を目指して研修を進めてきた。また、小・中学生の交流活動も継続して推進している。	段階		3.8	小中一貫教育の充実が、様々な行事における交流の様子でよく分かります。
			A	8			A	9		
			B	2			B	3		
			C	0			C			
D	0	D								
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。	段階		3.9	地域人材の活用を図り、甕島の自然のよさ・収穫の喜びを味わわせ、ふるさと大切さを感じ取らせることができた。	段階		3.8	島立ちに向けて、小学校でも引き続き、夢と希望をもてる教育活動を続けてください。
			A	9			A	9		
			B	1			B	3		
			C	0			C			
D	0	D								
13	(6)	英語教育の推進について、小・中・義務教育学校の特質を活かして充実が図られている。	段階		3.8	ALT、ESTが担任と連携して授業を行い、効果が上がっている。イングリッシュルームの有効活用を引き続き図っていききたい。	段階		3.6	英語が教科と聞きます。引き続き指導の充実を図ってほしいです。
			A	8			A	7		
			B	2			B	5		
			C	0			C			
D	0	D								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階		3.4	登下校時だけでなく、地域・来校者、友達同士といった範囲まで元気なあいさつを率先して行えるよう指導していききたい。	段階		3.8	はずかしさもあるのか、あいさつをしても返事が返ってこないときがあります。
			A	5			A	9		
			B	4			B	3		
			C	1			C			
D	0	D								
15	(8)	教育公務員としての職責感の高揚と服務規律の厳正確保に努めている。	段階		3.8	服務規律ファイルの活用、服務に関する研修等を工夫し、服務規律の厳正確保により努めていきたい。	段階		4.0	引き続き、研修等で職員の意識高揚を図ってほしいです。
			A	8			A	12		
			B	2			B			
			C	0			C			
D	0	D								

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

- これまで以上に、子供たちの学校生活が具体的に伝わるよう、各種通信やブログ等を生かしていくようにしたい。特に、英語に関する情報は、学校全体で発信できるように取り組んでいきたい。
- 学力の向上については、引き続き、年度当初に「里小推進プラン」の共通理解を図り、実践につなげていきたい。体力の向上については、チャレンジかごしま(縄跳び)へ積極的に取り組み、一校一運動のより一層の充実を図っていききたい。
- 小中一貫教育は、来年度から2小1中の取組になることから、3校で連携を図りながら、小中連携も含めて充実を図るようにしたい。
- 学力の様子については十分周知を図ってきたが、体力の様子については、今後も周知の努力を図るようにしたい。
- あいさつは、全校で取り組んでいる。どの子も声が大きくなってきているものの、今後も取組を継続させ、あいさつの輪が更に広がるように粘り強く指導していききたい。